



会議録

会議の名称	令和2年度第1回第2次加東市総合戦略策定推進会議
開催日時	令和2年9月15日(火) 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	社福祉センター 2階 レクリエーション室
議長の氏名 (座長 庭瀬 敬右) 出席及び欠席委員の氏名 <出席委員> ・阿江 孝仁 ・網屋 浩一 ・須貝 正俊 ・中野 剛志 ・西村 直香 ・松本 久美子 ・森田 啓之 ・ライアン 慶子 <欠席委員> ・日下 知明 ・瀧川 智秀 ・多田 実乗 ・中西 光範	
説明のため出席した者の職氏名 ・市民協働部長 藤井 康平 ・健康福祉部長 大西 祥隆 ・産業振興部長 小坂 征幸 ・都市整備部長 大畑 敏之 ・教育振興部長 田中 孝明 ・こども未来部長 広西 英二 ・市民協働部人権協働課長 土肥 彰浩 ・健康福祉部福祉総務課長 近澤 孝則 ・健康福祉部社会福祉課長 岸本 英典 ・健康福祉部健康課長 細川 公代 ・産業振興部農政課長 神戸 剛 ・産業振興部商工観光課長 原田 幸広 ・都市整備部都市政策課長 長谷田 克彦 ・教育振興部教育総務課学校給食センター所長 簗田 順子 ・教育振興部生涯学習課長 長田 徹 ・こども未来部学校教育課副課長 井上 聡 ・こども未来部こども教育課長 壺井 初美	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・まちづくり政策部まちづくり創造課長 時本 大作 ・まちづくり政策部まちづくり創造課まち活性化推進室長 小林 寿泰 ・まちづくり政策部まちづくり創造課主査 藤原 恵	
<議題> ・令和元年度第2次加東市総合戦略施策評価について <会議資料> 第2次加東市総合戦略 加東市人口ビジョン 令和2年度第1回第2次加東市総合戦略策定推進会議次第 加東市総合戦略策定推進会議設置要綱 【資料1】総合戦略について 【資料2】総合戦略における評価の考え方 【資料3】平成30年度・令和元年度の評価結果一覧 【資料4】令和元年度第2次加東市総合戦略施策評価シート <会議の経過> 別紙「令和2年度第1回第2次加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過のとおり	

令和2年11月10日

座長 庭瀬 敬右 
 署名人 阿江 孝仁 

(別紙)「令和2年度第2回第2次加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
座長	1 開会 2 座長挨拶 3 職務代理者の選出 4 議事 (1) 総合戦略の内容及び総合戦略における評価の考え方について (2) 令和元年度第2次加東市総合戦略施策評価について ○基本目標①力強い産業としごとづくりについて事務局より説明 ■施策1 地域産業力の向上に向けた企業支援
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1ページ基本目標シートの2018年と2019年が「未」となっているが、調査は行われているのか。 ・市内総生産は兵庫県が算出しており、2018年の結果についての速報値は発表されているが実績値は令和3年1月頃発表見込みのため未記入としている。 ・雇用の確保の取組に対する満足度結果は、令和2年度に行う総合計画の市民アンケートの結果とするため、令和元年度の数値はでない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の誘致について、高速網の発達に伴い沿線の工業用地の整備や拡大が進む中、加東市の交通利便性の強みが十分にアピールできているか。北神戸や加西、播磨、北摂辺りまで含めた新工業団地との比較を行ってアピールポイントを整理してはどうか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスがよいこと、自然災害が非常に少ないことをPRしている。企業との話の際には必ずPRポイントとして伝えている。 ・市内4つの工業団地にある59の土地のうち、53が操業されている。残りの6についても操業待ちである。 ・銀行や県の産業活性化センターへ、企業のニーズやどのような企業が工場進出しているのかなどヒアリングを定期的に行っている。 ・過去に市内の既存の空き店舗や空き地等への大型飲食店の誘致を図った経緯もあるが、話が進んでない。 ・引き続き本市の立地や利便性のよさをPRしながら、工場や企業の誘致に取り組みたい。
委員 室長	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな工業用地の創出についての取組状況はどうか。 ・事業者のニーズの把握、国との協議、近隣だけでなく遠隔地を含めた事例調査をしながら取組みの推進手法を模索しているが、農振農用地の規制解除が非常に大きなハードルになってくる。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の観点や、市の財政状況への影響も踏ま

座長	<p>えて一番いい方法を模索しながら、調査・検討を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道は他市と比較して高くないのか。メリットとしては交通網なので、デメリットのところは言わないのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・水道には自分のところの水源で作った自己水源と、三田等から受水する県営水道がある。県営水道は若干高く、加西市と比べても少し差が出るという認識でいる。 ・起業後の継続的な操業を支援する企業立地支援制度が地方創生に対して有益であるかどうか評価いただきたい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はBであるがBでよいか。 <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もBとする。
委員	<p>■施策2 安定した雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出の取組に対する費用対効果、労力対効果が小さくないか。人の移動が見込まれる企業の誘致や専門学校等の誘致等、拡大、交通網整備に資源を注力するほうがよいのではないか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業は、ベンチャーやスタートアップといったような革新的な事業ではなく、身近に接することができる雑貨店や飲食店など小さな仕事をしてみようという方の支援を商工会にしている。 ・商工会と連携しながらセミナーや相談会等を開催しており、小さな仕事を増やすことで町の多様性となり、活性化することを期待している。 ・創業はある程度自身の趣味の延長であるとしても、人生をかけて事業を行うため、簡単に件数が増えるものではないと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数を指標にするのではなく、就職したなどを指標にするのがよいのではないか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・指標については、次回策定時に修正したい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の人手不足の状況は。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大までは有効求人倍率は2近くであったが、新型コロナウイルス感染症拡大後は1を切っている。今の時点では非常に厳しい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人就労者の新型コロナウイルス感染症拡大による影響は。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人労働者、いわゆる技能実習生についても、企業のラインが止まるなど、仕事がない状況が見受けられる。併せて契約終了により帰国予定であった方が帰国できず、日本にいても仕事がないという相談が増えている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・もち麦施策に今後どのように取り組んでいくのか。山田錦の状況はどう

課長	<p>か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田錦は加東市の農業の基幹である。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりお酒の消費量が減っているため、次年産の作付を危惧しているが、根の太い産業であるため、崩れてしまうことはないと考える。 ・もち麦について、健康事業や学校給食での提供をまちづくりの1つのツールとして農政課が中心になって進めている。課題であるもち麦の生産の拡大を進めていくとともに、飲食店での提供などもち麦を活用したまちづくりをさらに進めていきたい。
委員 課長 座長	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫教育大学との連携による創業は考えていないのか。 ・相談に行かせていただき、プラスになるものがあれば取り組みたい。 ・一次評価はBであるがBでよいか。 <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もBとする。
	<p>○基本目標②誇れる選ばれる加東ブランドづくりについて事務局より説明</p>
座長 課長	<p>■施策1まちの拠点とにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ推進事業の経費の内容はどのようなものか。 ・小学校区毎くらいにまちづくり協議会という住民自治組織があり、その組織で地域の活性化等に向けて行った事業に対し自治組織分として補助金を交付している。また、各団体で地域活性化に向けて活動している事業に対して応募活動分として補助金を交付している。
委員 課長	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ推進事業に比べ、100万円単位で支出している観光事業など、にぎわいの核作りの施策への予算配分が薄いのではないか。 ・コミュニティ推進事業は団体に対して交付しているため、総計すると多くなる。観光事業は事業に対して支出しているため、100万円単位が妥当と考える。 ・観光の活性化については、旧滝野庁舎を改修し、令和2年度末のアート館の開業を目指している。この事業に対しては非常に大きな金額を執行する予定としている。
座長 課長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地とはどの辺りか。 ・Bio周辺を中心市街地として考えている。 ・中心市街地活性化事業について、用途地域の変更や農振除外が解決されないと計画が進んでいかないと思うが今後どう進めていくのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・Bio周辺については、当初は市街化編入を目指していたが難しくなったため、地区計画による手法に変更し、開発が止まることのないよう進

<p>座長 課長</p>	<p>めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスターミナル等についても地区計画による手法で進めている。 ・加東アート館をどのように活性化につなげる予定か。 ・アート館は旧滝野庁舎1階を利用し、主にトリックアート作品を並べて常設の展示館を構える。作品に加えAR（スマートフォン撮影時に現場にない画像が浮かび上がる）装置を取り入れ、館内と館外（サイクリングやフットパスコース）にポイントを設置することで、アート館を来訪された方に周辺も回っていただく仕組みをつくり、近隣の商店街の活性化につなげる予定である。
<p>座長 課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加東アート館の維持費はどうするのか。入場料はいくらか。 ・令和3年度から指定管理者制度とし、民間企業に入ってもらって予定で考えている。緊急の場合の修繕等は市の負担で行うが、運営費用については入場料等で賄っていただく。入場料は、親子2人、子供1人で大体1,000円を考えている。
<p>委員 主査 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の相談実績53件のうち、移住につながった件数は。 ・相談後の追跡をしていないが、市が把握しているのは1件である。 ・社会実験イベントの内容は。地域活性化に意欲のある人材が発掘できたという部分について詳細に説明してほしい。
<p>課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年から中間支援組織としてまちの拠点づくりコンソーシアムを設立している。B i o 2階の共有スペースで、市内の作家さんや自身の趣味などをアピールできる機会として、イベントを実施している。また、毎年3月頃にB i o南側駐車場等で作家さんや飲食店と一般的にマルシェと言われるイベントを行い、市内外から誘客し、にぎわいを創出するイベントを行っている。そのイベントの中で、他の団体や同じ目的の人とつながっていく部分を事業者の連携としている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者交通費支援事業について事業の内容や助成の受け方を教えてほしい。
<p>課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関空から本市、そして市内のゴルフ場を周遊される際の車のレンタル費用を補助するものである。ゴルフ以外の目的で日本に来られる場合も対象となるが、現状はほぼ100%がゴルフ目的である。北播磨県民局が1/2補助を行い、観光協会が1/4補助をしている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者交通費助成金交付対象者数について平成30年度もK P Iの実績値が低い。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅行者の制限や外国の状況も大きく変わっているが、計画の見直しはするのか。
<p>課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度はさらに低い数値になると予想される。目標設定値について

座長	<p>は検討が必要と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はBであるがBでよいか。 <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もBとする。
座長 主査	<p>■施策2 定住・移住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住・移住について今後どのような施策を予定しているか。 ・移住結果については、今後追跡をするかも含めて検討する。 ・取組みについては、これまでの定住・移住相談実績を分析して、ターゲットを定めた戦略を考える。
座長 主査	<ul style="list-style-type: none"> ・相談は53件と多いのに移住につながらない理由は何か。 ・その理由を分析する必要があると考えているが、これまでの相談実績をみると相談自体が1回で完結している場合が多いのが現状である。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションが流行りであるが、古民家を魅力的なものにするなど空き家活用はしていないのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・空家所有者の意向があるため、利活用し移住に結びつけるのは難しいと認識している。所有者の意向など合意形成を図るところから検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・KATTOによる情報発信件数の達成は難しくないと思うが、100%超えてない理由は。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・KATTOは平成29年に開発したものであるが、当時はInstagramがまだ普及していなかった。その後Instagramが普及してきたため、令和元年度は、情報発信方法としてInstagramとKATTOのどちらが波及効果が大きいのかを検証する時期としていた。投稿も大事であるがアプリを閲覧してもらおうという観点が大事であると考えている。また、アプリをダウンロードした件数が22件あり、そういう意味では情報発信には多少至っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの指標のうちのが大半が100%を超えており、100%未満の部分でも99.7%である。事業の中で不十分なところがあるとして一次評価はBだが、全体としてはAでよいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に当初設定の数値をほぼ達成しているため、課題があることは分かるが、Aでよいのではないか。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はBだが、Aという意見がある。Aでよいか。 <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価はAとする。 <p>○基本目標③加東の未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくりに</p>

	<p>ついて事務局より説明</p>
委員	<p>■施策1 結婚に向けた出会いの機会創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの回数や参加者数を指標にするか、成果報告に加えたほうがよいのではないか。
室長	<ul style="list-style-type: none"> ・実績として、イベントは平成30年度、令和元年度ともに2回ずつ開催している。その前に講座やセミナーも開催しており、延べ107人の参加があった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの回数や参加者数よりも成果に近いものとするため、カップル成立率をKPIとしているが、開催回数や参加人数についても追記する。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・高いカップル成立率のため、積極的に回数も増やしてはどうか。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに検討する。回数が多くなればなるほど、参集が難しくなることが考えられるため、その辺りも勘案しながら回数を増やし、カップル成立率や成婚率を上げる取組みにしていく。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はAであるがAでよいか。
座長	<p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もAとする。
委員	<p>■施策2 妊娠・出産・子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親が安心して子供を預けて働けるように支援できている。特に、病気の子供の保育事業は親にとってはとても助かる。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の確保に課題はないのか。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消のためには、保育士、保育教諭の確保が重要である。その他、学生や潜在保育士に市内の教育、保育施設を知っていただくことも必要と考え、今年度、第1回保育士、保育教諭向け就職フェアを開催した。当日34名の来場があり、同時期に開催した近隣に比べると比較的多くの方に来場いただけた。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・採用はどれぐらいあったのか。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・面接までつながった事例は聞いているが、就職につながった事例は聞いていない。就職につながった事例は報告をもらうことになっている。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士は足りているのか。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・十分でない園もあるため、一部保育士不足のために定員まで受入れができない園もある。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・園が集約されてこども園が新設されたがその効果は。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・統合により、3歳未満の定員枠を37名増やすことができた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児童数が達成してない理由は何か。

室長	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児童数は0から6歳までの人数として挙げている。子育て支援や結婚支援などの施策の成果としてこの児童数を増やしていくことを目的としている。
委員 課長	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童が1名いる要因は何か。 ・待機児童は、平成31年4月1日現在1名である。少し障害がある児で医療的ケアは必要なかったものの看護師配置の希望が園よりあったため、年間を通じて看護師を募集したが応募がなかったため結果的に待機となった。
委員 課長	<ul style="list-style-type: none"> ・育児教室は受診なのか。健診でないのであれば受けなくてもよいのでは。 ・育児教室は、正確には参加率となる。健診と同じように問診項目を取ったり発達のチェックをしているため、強制ではないが1つの目安として参加の状況を見ている。教室については不参加者への勧奨を1度行っているが、健診ほど徹底していないため、参加の割合が少なくなっている。
委員 課長	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診受診率が97.3%であるが、100%にしなければならないのではないか。 ・乳幼児健診は、受診率100%を目指して実施している。令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3月の健診を延期したため、受診率が下がっている。また、住民票を置いたまま帰国される方もあり、なかなか100%が達成できない状況であるが、未受診者に対しては必ず訪問等をして現状を把握している。
委員 副課長	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の朝食摂取率の項目があるが具体的な取組内容は。 ・小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に併せて食育指導をしている。栄養教諭が各学校で食の栄養素の大切さを指導している。家庭的な事情により朝食を取っていない場合もあるが、それよりも生活習慣の乱れで朝食を食べていない傾向がある。
座長 部長	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市の教育をブランド化して人を集めるのはどうか。 ・小中一貫教育を進めるため、まず東条地域からの開校を目指し、3地域で小中一貫教育を推進していく。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はBであるがBでよいか。 <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もBとする。 <p>5 その他 今後の会議開催日程について</p> <p>○事務局から説明</p> <p>閉会</p>